

海の生きもの観察ノート⑫

# ヒラムシの 博物誌



千葉県立中央博物館分館  
海の博物館

# はじめに

千葉県立中央博物館 分館海の博物館では、毎年春から初夏にかけて目の前の磯で生きものの観察会を数多く行っています。観察会でいつも人目を引くのは、ウニやヒトデ、カニなど、誰もが知っている“メジャー”な生きものです。しかし磯には、一般に知られていない生きものがたくさんいます。観察会に参加する方は、たいてい知らない生きものにはあまり興味を示さないものですが、例外的に人気を集める“マイナー”な生きものがあります。石の裏にいる小さくて平たいヒラムシがそのひとつです。かなりの速さで動くヒラムシを見つけて「なに？これ〜!」と声を上げる参加者は少なくありません。

本書は、これまで観察会の現場で解説してきた内容を中心に、ヒラムシの話題をまとめたハンドブックです。子孫を残すためのユニークな行動や、意外にもフグと同じ毒を持つ種類がいることなど、ヒラムシはなかなか話題性に富んだ生きものです。また、ヒラムシには目のさめるような美しい色彩を持つものもあり、最近ではこのような種類が水中写真で紹介される機会も増えてきました。

人類が未知の生物の存在を知るきっかけになったのは、大航海時代以降、世界各地で発見されたさまざまな動植物を記述し、図示した「博物誌」でした。この「ヒラムシの博物誌」がきっかけとなり、多くの人々がヒラムシへの関心を深めていただければ嬉しく思います。

## 目次

1	ヒラムシとはどんな生きもの?.....	1
	ヒラムシって何の仲間? .....	1
	ヒラムシの体のつくり .....	2
	コラム・ヒラムシに似た磯の生きもの .....	2
2	ヒラムシの暮らし .....	3
	ヒラムシの繁殖 .....	3
	ヒラムシの食事 .....	4
3	フグ毒をもつヒラムシ .....	5
	コラム・ヒラムシをまねる魚 .....	5
4	ヒラムシの色彩と種の多様性 .....	6
	コラム・最も簡単なヒラムシ標本の作り方 .....	7
5	ヒラムシカタログ .....	8
	無吸盤亜目 .....	8
	コラム・同定の難しい無吸盤亜目 .....	10
	吸盤亜目 .....	11
	コラム・普通種なのに名前のないヒラムシ .....	18
6	参考文献 .....	20
7	謝辞 .....	20
8	索引 .....	21

# 1 ヒラムシとはどんな生きもの？

地球上にはたくさんの生きものがくらしています。その中で私たちと直接の接点があるものは、ごく一部に過ぎません。本書の主題であるヒラムシも、一般的にはあまり知られていない生きもののひとつです。そのようなヒラムシに親しむ第一歩として、ヒラムシが私たちの身近にいるどのような生きものと近縁なのか、ということから本編を始めたいと思います。

## ヒラムシって何の仲間？

ヒラムシとは扁形動物門・渦虫綱・多岐腸目に属する動物の総称です。多岐腸目のほとんどが海産で、図鑑などに取り上げられる種類は多くありません。しかし、ヒラムシと同じ渦虫綱に含まれる三岐腸目には、理科の再生実験などによく利用される淡水性のプラナリア(ウズムシ)の仲間(写真左下)や、雨上がりの道路をはっているのを見かけるコウガイビル(写真右下)の仲間(写真右下)があります。ヒラムシは「海のプラナリア」と呼ばれることがあり、プラナリアに近縁の動物なのです。また、人間などの脊椎動物の消化管内にすむ寄生虫として有名な「サナダムシ」は扁形動物門・条虫綱に位置付けられますので、ヒラムシの遠い親戚といえるでしょう。

扁形動物門の分類(馬渡, 2013 を改変)。青字が本書で扱うヒラムシ類。

扁形動物門 Platyhelminthes  
有棒状体亜門 Rhabditophora  
条虫綱 Cestoda…サナダムシなど  
渦虫綱 Turbellaria  
多岐腸目 Polycladida  
無吸盤亜目…ツノヒラムシ科、カリオヒラムシ科など  
吸盤亜目…ニセツノヒラムシ科、ホソヒラムシ科など  
三岐腸目 Tricladida…ウズムシ亜目、コウガイビル亜目など



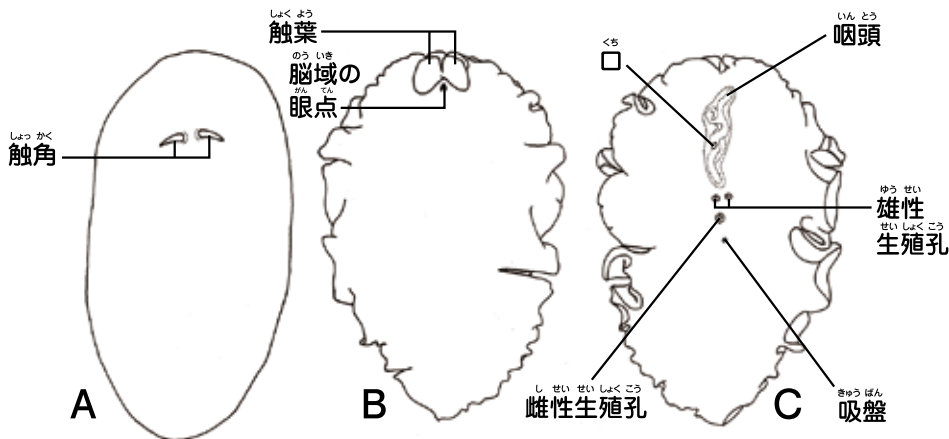
主に淡水域に生息するウズムシの仲間(撮影:金子美織)



陸にすむ渦虫綱であるコウガイビルの仲間

## ヒラムシの体のつくり

ヒラムシを含む扁形動物の体は左右相称で、体表に節がなく、体内に空洞(体腔)がありません。ヒラムシ類では、体は薄く、とても細かい毛のようなもの(繊毛)に覆われています。ほとんどの種類に肛門はありません。背面には普通、**触角**を備えます。ニセツノヒラムシ科には触角はなく、体の前端が上向きに折り返されたようになった「**触葉**」を持ち、ホソヒラムシ科では触角も触葉もありません。**眼点**が**脳域**や体の縁部などに見られます。腹面には口や**生殖孔**が開きます。腹面の**吸盤**の有無は「**亜目**」というグループ(P.1の表参照)を見分けるための特徴になります。腹面からは**咽頭**の形が透けて見えます。



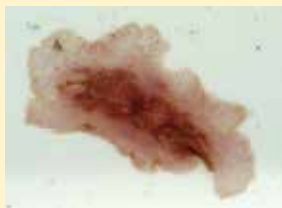
ヒラムシ類の体各部の名称。A, 無吸盤亜目の背面; B, 吸盤亜目の背面; C, 吸盤亜目の腹面。生殖孔や咽頭は、状態のよい標本(P.7参照)でないとは確認できない場合があります。

## コラム ヒラムシに似た磯の生きもの

磯には、扁形動物ではありませんがヒラムシによく似た生きものがあります。その代表がウミウシです。ウミウシは貝殻が退化した巻貝で、軟体動物門に含まれます。体に厚みがある、種類によっては二次鰓を有するなど、よく見るとヒラムシとの違いは明らかです。他に、クシクラゲ類と同じ有櫛動物門に属するクラゲムシや、かつてヒラムシと同じ扁形動物門に含まれていた珍無腸動物門の無腸類も、磯で見られるヒラムシに似た動物です。



ウミウシの仲間(軟体動物門)



クラゲムシの仲間(有櫛動物門)



無腸類の仲間(珍無腸動物門)  
(撮影: 柳 研介)